



令和7年度

友愛の信 (柳城中学校だより)

第2号 令和7年5月26日発行 文責 校長 古賀俊文

「雲外蒼天 ～ともに前進 みんなで成長～」

ー練習から準備、片付けまで、生徒主体の体育祭になりましたー

体育祭前日に雨が降り、準備ができないまま体育祭の当日を迎えました。当日も早朝まで雨が降りました。しかし、生徒や職員の力で、1時間遅れの開会で、体育祭を実施することができました。

今年の体育祭は、練習の段階から、これまで以上に生徒が活躍する姿を見せつけられました。実行委員やブロックリーダーが指揮をしたり指示を出したりする姿、そしてそれに応えようとする、フォロアーの生徒の姿。自分の役割を自覚し、「どう動けばいいのか」「今何をすべきか」多くの生徒が考えながら練習に臨む姿が見られました。

体育祭当日は、前日できなかった準備に加え、たまった水をスポンジで吸い取り、砂を入れ、グラウンドの整地・整備も行いました。泥水で汚れた机や椅子は雑巾で拭き上げました。本部及び生徒席テントの設営、ライン引きなど、生徒全員で準備しました。生徒・職員の力で、9時45分に生徒が集合したときには、体育祭を開催できる万全の体制が整いました。午後は、片付けの後に解団式を行いました。解団式では、閉会式で見た生徒の充実した表情以上に、自分たちの力でやり遂げたという達成感に満ちた姿を見ることができました。練習を開始した当初に想像したよりも、はるかに生徒の活躍と成長を実感した体育祭になりました。

↓ 入場行進



↑ 2年生 長縄とび



↑ スローガン



↑ 全校種目 綱引き



↑ 3年生 ソーラン

生徒同士の力で

生徒会スローガン ～『繋ぐ』～

練習、当日、後片付けまで、たくさんの生徒の力が発揮されました

体育祭の活動では、様々な係で活躍する生徒の姿がありました。図書委員は練習から当日まで、朝早く登校し放送設備を準備しました。風紀委員は、プロセス点検の取組のほか、リハーサルと体育祭当日に生徒の椅子の脚をきれいに水洗いできるよう活動しました。健康委員は、生徒の水筒を管理するケースの準備、片付けをしました。その他スローガン旗やブロック旗の作成、ソーランリーダーをはじめ各競技のリーダー、用具・採点・監察等の準備など、たくさんの係を生徒が務めました。これらは実行委員会がまとめ、実行委員会はブロックリーダーと、毎日の振り返りと翌日の練習内容について打ち合わせ、注意点などの確認をしました。

↓ リーダー会

↓ ブロック旗作成



↑ 朝の会で練習の説明



← 図書委員会



→ 風紀委員会



↑ 当日後片付け

体育祭を終えて、実行委員長と副実行委員長に話を聞きました。実行委員長の第一声は『やりきった感』でした。そして、次のように話してくれました。「体育祭前日、リーダーと実行委員で円陣を組んで、そのときみんなの声が出ていて一つになっている感じがした。体育祭を終えた後のみんなの笑顔を見て、やってよかったと改めて感じた。」副委員長は、「はじめは不安でいっぱいだったけど、無事に終わってほっとしている。特に人前で話したり指示を出したりすることにまだ慣れてなかったけど、みんなに支えられて何とか務めが果たせた。」と話してくれました。二人とも、しっかり準備したつもりでも、予定通りに進まず、時間配分も難しかった様子が、貴重な経験ができたとも話していました。そして、この経験を生かして、今後の活動でも生徒のみんなで団結して頑張りたいと力強く話してくれました。

【あいさつ】 【そうじ】 【聞く・聴く】 【話す】

☆地域で・家庭で・保育園で・幼稚園で・小学校で・中学校で

校区の子どもたちを育てましょう

柳城中学校区スタンダード